

高野公彦選

手術中地震に襲われ医師たちの患者に被さる
姿尊し

(観音寺市) 篠原 俊則

本震のような余震が堪えたと仙台の友熊本案
ず

(つくば市) 石上徳千代

避難所を閉じゆく日なり惜しむがにランチ会
してみそ汁啜る

(熊本市) 大畑 靖夫

ロバートはヒロシマを訪ひ被爆死の米兵捕虜
の伯父に黙禱

(東京都) 椿 泰文

被爆者をハグせしオバマ原爆が戦争止めた
言い切るトランプ

(倉吉市) 砂原 誠子

誕生日の夫の手作りハンバーグ初めて食べる
ワイルドな味

(富山市) 松田 梨子

「休肝日一日増やすね」「私より長生きする
気？」妻はほほ笑む

(西宮市) 小原 幹男

サバンナを吹き渡る風夢見つつ日本の酷暑に
逝きしライオン

(高崎市) 野口 啓子

蜩が鳴いてくれます田草取りきょうはここま
ですはここから

(牛久市) 川村 空也

今よりも先進的な古代日本へ女帝活躍社会
が在りき

(阪南市) 岡本 文字

【評】1首目～3首目、先日の熊本地震がそれぞれの角度から捉えられている。
4首目、日本軍の捕虜として広島に拘束されていたとき被爆し亡くなった伯父を悼み、はるばる日本に来て伯父の霊に黙禱を捧げた甥のロバート氏の真心を詠む。

永田和宏選

下読みで泣かぬ練習くり返し子らに読み聞か
す「かわいそうなぞう」(山口県) 庄田 順子

プロポーズを済ませ夜行で京都着九時の講義
に間に合いました (守谷市) 久保田洋二

ロビーには殺人犯も被害者も役を離れて深く
お辞儀す (西宮市) 金城 喜幸

歌詠んでAIに出来を聞いてみるいつも心地
よいコメントくれる (東京都) 岡 純

被爆せし姉に「姉ちゃん、気味悪か」と言い
しを今も悔やむ弟 (観音寺市) 篠原 俊則

頭蓋は二十三個の骨で成る脳や顔貌様々なれ
ど (新庄市) 三浦 大三

本人が困ってからでは遅すぎる家族が困り始
めに補聴器 (富士市) 村松 敦規

大勢の飲み会でただ笑うときあゝわたしいま
すごく独りだ (流山市) 汐入 音佳

炎天に道路工事をする人がファン付きベスト
に膨らんでいる (日立市) 加藤 宙

単純に撤去費用が無いだけの火の見櫓が残る
集落 (相馬市) 根岸 浩一

【評】庄田さん、戦争中、動物園の象を餓死させなければならなかった話。「泣かぬ練習くり返し」に作者の思いが。久保田さん、京都青春記を詠み続けている。金城さん、不思議と言えば不思議な光景。岡さん、ほんとAIは褒め上手。